

8-2-6 年報委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の記録

令和 6 年度年次報告の発行および令和 7 年度年次報告の発行準備に向けて、計 4 回の委員会を開催した。

a) 第 1 回委員会（令和 7 年 6 月 6 日）

各委員会から提出された年次報告（3 月 21 日執筆依頼、5 月 9 日提出締め切り）の一次校正について、提出が遅れている 3 稿を除き完了したことが報告された。

この一次校正結果について修正の是非や修正方法の審議を行い、それに基づき二次校正を開始することとした。なお、二次校正の提出期限は 7 月 3 日とした。

b) 第 2 回委員会（令和 7 年 7 月 4 日）

未入稿 1 稿を除き二次校正が完了したことが報告された。未入稿 1 稿は廃止される委員会であり、今後の参考となるため廃止の経緯を記載するよう依頼し、委員長預かりとして別途扱うこととした。

この二次校正結果について細部の校正方針、疑問点等を再確認し、印刷会社に掲載用データ作成の依頼を行った。

c) 第 3 回委員会（令和 7 年 7 月 25 日）

メール審議により修正後の最終原稿を確認し、さらに一部修正を行った。例年 7 月末頃に発表される国交省資料（巻末に掲載するコンサルタントの登録状況等の参考資料）が未発表のため、この部分を未掲載とした暫定版を 8 月 5 日に協会一般向けホームページへ掲載した。

また、今年度も冊子の配布は行わないことを確認した。

d) 第 4 回委員会（令和 8 年 1 月 30 日）

国交省資料が 9 月 24 日に発表されたため、すぐに暫定版をアップデートして、最終版を掲載したことが報告された。

また、令和 7 年度年次報告の原稿依頼文

書等の確認を行い、執筆依頼は 3 月 23 日、原稿提出締め切りは 5 月 8 日とすることを決定した。

なお、ホームページへのアクセス数は掲載を開始した 8 月から 11 月までの間で、閲覧回数：1,707 回（総ユーザー数：1,284 名）だったことが報告された。

(2) 功績賞の申請

以下の実績を根拠として、初めて功績賞を申請することとした。

a) 2005 年度の活動開始から 20 年経過

b) 委員会活動内容の広報は年報しかない

c) 令和 6 年度年報の総頁数は 168 頁に至った

d) 掲載したホームページの令和 6 年 9 月～令和 7 年 7 月の閲覧回数：3,557 回（総ユーザー数：2,588 名）

2. 次年度の活動について

次年度は令和 7 年度年次報告の発行、および令和 8 年度年次報告の発行準備を行う。

具体的な活動予定は下記のとおりとする。

(1) 5 月中旬

令和 7 年度年次報告の原稿が入稿次第、各委員で一次校正を行う。

(2) 6 月中旬（第 1 回委員会）

一次校正結果に関する課題や統一すべき事項について審議し、二次校正を行う。

(3) 7 月初旬（第 2 回委員会）

二次校正結果を確認して必要な修正を行い、各原稿の最終版を確定する。

印刷会社に掲載用データの作成を依頼する。

(4) 7 月下旬（第 3 回委員会）

国交省および事務局資料の内容を確認し、印刷会社が作成した掲載用データと合体する。

協会一般向けホームページに掲載する。

(5) 7～12 月頃（必要に応じて）

国交省資料の発表が遅れる場合は、発表され次第掲載データをアップデートする。

(6) 令和 9 年 1 月下旬（第 4 回委員会）

令和 8 年度年次報告の準備を開始する。

（年報委員会委員長 平 暁）